

## 令和7年第1回厚岸町教育委員会会議録

招 集	日 時	令和7年1月31日 午前9時30分	
	場 所	厚岸町役場 2階庁議室	
開 会 日 時		令和7年1月31日 午前9時30分	
閉 会 日 時		令和7年1月31日 午前9時55分	
出 席 委 員		田 辺 正 保	
		濱 秀 利	
		森 脇 直 美	
		成 澤 幸 恵	
欠 席 委 員			
会議録署名 委 員	教 育 長	滝 川 敦 善	
	委 員	田 辺 正 保	
会議出席 者	教 育 長	滝 川 敦 善	
	事務局職員	管理課長 諸 井 公 指導室長 藏 光 貴 弘 学校給食センター所長 小 池 裕 子 生涯学習課長 車 塚 洋 情報館長 川 原 田 恵 海事記念館長 菅 原 卓 己 B&G海洋センター所長 千 葉 隆 行 温水プール館長 石 田 秀 之 管理課総務係長 神 奈 緒 美	
	その他の者		

議事日程

日程	議案番号	付 議 事 件
1		開会
2		会期の決定
3		前回会議録の承認
4		会議録署名委員の指名
5	(議 案)	
	議案第1号	令和7年度学校給食費の額について【原案可決】
	議案第2号	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書について【原案可決】
6		閉会

## 令和7年第1回厚岸町教育委員会

令和7年1月31日

午前9時30分開会

●教育長           ただいまから、令和7年第1回厚岸町教育委員会を開会  
します。これから、本日の会議を開きます。  
なお、本日の日程は、既に配付されている日程表のとおり  
であります。

●教育長           日程第2「会期の決定」について、委員会の会期を本日  
1月31日の1日間としてよろしいですか。

(はい。の声)

●教育長           それでは、そのように決定いたします。

●教育長           日程第3、「前回会議録の承認」についてであります。  
令和6年12月25日に開会した第15回教育委員会の会議録の  
承認についてであります。会議録署名委員の成澤委員、  
私がそれぞれ署名済でありますので、これをもちまして承  
認とさせていただきます。

●教育長           日程第4、「会議録署名委員の指名」についてでありま  
す。本日の会議録署名委員は、会議規則第18条の規定によ  
り、田辺委員を指名いたします。

●教育長           日程第5、議案第1号「令和6年度学校給食費の額につ  
いて」を議題といたします。職員は、提案理由と議案内容  
の説明をしてください。

●管理課長           ただ今上程いただきました、議案第1号、「令和7年

度学校給食費の額について」、その提案理由と内容についてご説明いたします。

議案書1ページ及び別にお配りしております議案第1号説明資料を併せてご覧願います。

学校給食費の額につきましては、厚岸町学校給食センター管理条例施行規則第8条第1項の規定に基づき、厚岸町学校給食センター運営委員会に諮問し、その答申を経て、教育委員会が決定することとしています。今後の流れといたしましては、本議案議決後、直ちに厚岸町学校給食センター運営委員会に諮問し、2月中に答申を得た後、次回の厚岸町教育委員会に「令和7年度学校給食費の額の決定について」の議案を上程いたしたいと考えております。令和6年度の給食費の額は、小学校253円、中学校304円としたところではありますが、令和6年度中においても、物価高騰が続き、令和6年度当初と令和7年当初想定と比較では、米10個キロ単価で2倍以上、209%、パンや麺についても5～15%増、その他調味料や野菜などの食材などでも17%の増と見込んでいるところであり、現状の単価では安定的に給食を提供することが困難な状況であることから、値上げはやむを得ないと考えております。

また、令和7年度の給食費の額については、40円から50円程度の値上げを想定しています。

給食費につきましては、令和元年度から町の助成金により保護者負担分を無償としており、各家庭への影響はないものと推測しています。

以上、簡単な説明ではありますが、ご審議のうえ、ご承認いただきますよう、お願い申し上げます。

●教育長

内容は、「令和7年度学校給食費の額」を学校給食センター運営委員会に諮問する内容についてであります。

これから質疑を行います。

(ありません。の声)

- 教育長           なければ、本件を原案のとおり決定してよろしいですか。

(はい。の声)

- 教育長           では、そのように決定いたします。

- 教育長           次に、議案第2号「教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書について」を議題といたします。職員は、提案理由と議案内容の説明をしてください。

- 管理課長       ただ今上程いただきました、議案第2号「教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書について」、その提案理由と内容についてご説明いたします。

なお、本日の説明につきましては、報告書の組み立てについて、ご説明させていただき、教育事務評価会議による評価の読み上げについては、事前配布しておりますことから、省略させていただきますことをご理解願いたいと存じます。別途お配りしている議案第2号別紙「教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価報告書（案）」をご覧ください。この報告書の作成にあたっては、令和6年11月25日に、北海道教育大学釧路校で事務点検評価会議を開催し、3名の委員の方々に点検及び評価に関する意見や助言をいただき、評価をいただいております。

報告書1ページをご覧ください。

ローマ数字のIの「はじめに」であります。1として点検及び評価の趣旨であります。「地方教育行政の組織

及び運営に関する法律」で、教育委員会は、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されております。

厚岸町教育委員会におきましても、平成20年から作成しており、16回目となる今回は、令和5年度事業分の点検・評価となっております。

次に、2として「点検及び評価の対象」でございますが、令和5年度厚岸町教育行政執行方針、第6期厚岸町総合計画第4次実施計画及び令和5年度厚岸町一般会計予算に計上された教育費に関する事務事業としております。

次に3として、「点検及び評価の視点」でございますが、教育委員会会議の開催状況をはじめ、各種審議会等の活動状況、教育行政執行方針の検証及び予算執行状況について、妥当性や有効性の視点から事務の点検及び評価を行っております。左ページの目次でございますように、ローマ数字Ⅱの「教育委員会の活動状況」については、2ページになり、3ページから、Ⅲの「教育委員会事務局の活動状況」となり、教育委員会事務局組織をはじめ、管理課、指導室、生涯学習課の各課における事務・事業については、22ページまでとなっております。

Ⅳの「学校評価の概要」につきましては、23ページから38ページまで。Ⅴの「児童生徒の推移」につきましては、39ページ。Ⅵの「教育事務評価の概要」につきましては、40ページから42ページまで。

Ⅶの「令和5年度教育行政執行方針検証表」につきましては、43ページから61ページまで。

Ⅷの「事務事業予算執行状況報告書」につきましては、62ページから79ページまでとなっております。

1ページにお戻りください。

4として、「学識経験者の知見の活用」でございますが、事務の点検・評価を行うにあたり、その客観性確保

のため、教育に関し学識経験を有する方として、山田和弘（かずひろ）氏、竹本和彦（かずひこ）氏、玉井康之（やすゆき）氏の御三方に、ご意見やご助言をいただいております。

なお、その「教育事務評価の概要」につきましては、報告書40ページから42ページに記載しております。

先ほども、申し上げましたとおり、今回、読み上げについては、省略させていただきますが、42ページに記載がございます、「4 教育行政全般」の評価のみ、述べさせていただきます。

教育委員会と各学校が一体となり、教育行政・学校運営にあたっていることを評価する。

近年、社会情勢が変化する中、様々な課題が生じているが、学校、家庭（家族）、地域が一体となり共に各課題に対応し、その成果を学校運営に反映している点の評価したい。しかし、一番危惧するのは、ICTの普及により人との関わりがあらゆる場面で希薄になってきていることである。今一度、地域社会における学校の役割、そして、それぞれの役割を見つめ直す必要があると感じる。今後も地域とともに各課題に対応し、厚岸の教育に誇りを持ち、引き続き、教育行政の推進と充実を図ってほしい。」との評価をいただいております。

以上、大変簡単な説明ではありますが、議案第2号「厚岸町教育委員会の事務の管理及び執行状況にかかる点検・評価報告書について」の説明とさせていただきます。

ご審議の上、ご承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●教育長                   これから質疑を行います。

●田辺委員                気になったのは、40頁（2）なのですが、全体的にはおおむね良好と評価いただいていると理解します。

この中で、その一方で不登校・いじめ・規範問題など悩みを抱えている学校も見られた、という表現ですね。

後段では、いじめ問題は、各学校の努力によっては大きな問題になっていない、と評価されていますね。

実際に学校はそういう課題・悩みが現実にあると理解してよろしいんでしょうね。

●指導室長

実際のところは、こういう悩みを抱えている学校はあります。不登校の問題一つにしても、学校だけでは対応しきれない問題が多くあって、家庭の状況などが大変、大きく関わっています。学校がそういった悩みを抱えたときに教育委員会へ相談してもらったり、教育委員会だけでは対応できない部分は保健福祉課と連携しあって、家庭や学校の状況を確認しながら、対応にあたっています。今後も連携を図りながら進めています。

●田辺委員

指導室長のおっしゃるとおりですよ。学校だけでは、処理しきれないことが、かなりあると思います。全体でのサポートは必要なんだなと思っていますので、十分に理解して対策にあたっただけということでもよろしくお願ひしたいと思います。

●教育長

教育委員会も学校も見逃さないということですね。

今まで見逃していたことがかなり多くありました。

大きな事件も一番、最初は見逃しから始まっていた。これを受けて、子どもたちへアンケートや面談などを実施し、状況を把握するということを重視していますので、学校は大きな悩みを抱えているんですね。

●田辺委員

逆にこういった実態があるんだよと記載されていることで大事なのかなと感じます。そういう面では評価したいと思います。

●教育長 濱委員いかがですか。

●濱委員 42頁、地元高校への支援の部分では、やはり、子どもが少ない状況で、釧路管内でもそうですよね。

では、地元の高校を町として、どんな形でバックアップしていくのかを考えていかなければならないですよね。これは、大変難しいことです。とりあえず、地元の中学生に翔洋高校の魅力をどれだけアピールするかだと思うんですよね。さらに力を入れてほしいですね。

●管理課長 今、高校の校長先生などとは良好な関係でございまして、何でも話せる関係です。

今は他県などから生徒を募集しようと事業を行っていますが、そもそも地元の子どもが進学してもらう、そのためには、翔洋高校の活動や進学してどういった就職先があるのかなど、地元の子どもが知る取組が必要だろうと思います。翔洋高校は空飛ぶドローン、水中ドローンの活動などを行っていますが、なかなか、その情報が中学校に入っていない。

翔洋高校からもいろいろな学習や活動を情報発信をしてくださいとお伝えしています。

マイスターハイスクールについてもそうですが、入学してこんな勉強をしています、こんな勉強をしてこの企業に就職しましたなど、小学校、中学校の先生方にもお知らせしていますので、御理解いただければと思います。

●田辺委員 実は私もマイスターハイスクールの発表会の時に、取組が素晴らしいと思いました。あのような発表などは中学生に知ってほしいと直に感じてもらうことが効果あるのではないのでしょうか。

これまでも、体験入学など実施しているのかと思うのですが、地元の高校はどんなことしているのかな、ど

んな将来があるのかな、など情報提供は大事だと思います。

キャリア教育をやっていますよね。特に地元高校に興味を持っている子どもがいるとして、キャリア教育の一環として、高校の授業に参加するとか検討してもらえたらと思います。

●管理課長 委員のおっしゃるとおりでございます。生徒もそうですが、保護者にも知ってもらわないとならないなと思いますので、そういった事業にも働きかけていこうと思います。

●教育長 森脇委員いかがですか。

●森脇委員 食育の充実の部分で、「食」への大切さ、安全・安心な食材のあたりで個人的に感じているというか、気になることがあるのですが、国で流通しているものがすべて安全ではないと思うんです。農薬や加工物を含めてです。

これは一概に全て対策できるとは思っていませんが、将来的に農薬などは問題になってくるのだろうと思っています。家庭でも食事は安全じゃないかもしれませんが、給食は今後も安全な方向に向かっていってほしいと思います。

今、オーガニック給食もあるようですが、この加工物はこれが入っているから危ないとか、米も放射線米とかもあるようですし、北海道の米は大丈夫だということを給食を作る側が理解していると親も安心だなと思います。全ての食材の安全項目を確認するには人権費などもかかりますので、直ぐにはどうすることもできないかもしれませんが、これからの特に食の部分は問題になってくると思います。まとまりがなくすみません。

給食が安全とわかると親は意識も変わると思うんですよ。

- 給食センター 一所長 加工品というのは、例えばどのようなものでしょうか。
- 森脇委員 保存料とか、いろいろな摂らない方がいいよね、というものです。
- 給食センター 一所長 食材は栄養士が成分表で食材を確認しています。  
オーガニックや無農薬は確認できませんが、ある程度の食材は確認しています。危険な物については、必ず排除していますし、米は、ななつぼしを使っていますので、他の米を使っているということはありません。
- 森脇委員 流通している添加物を除くことは難しいですよね。  
例えば、タール色素、赤色何号とかそういうのありますよね。そういったものは使わないのでしょうかね。
- 小池所長 栄養士に確認しますが、管内の市町村の栄養士と連携を図っていますので、危険なものは入れていないと思いますが、添加物の危険性については、全てを排除しているのかどうかは、すみません、わかりません。
- 教育長 これからの状況等もありますし、栄養士がしっかりやっていますので、御理解いただければと思います。
- 成澤委員 親の立場としては、よくやってもらっていると思います。子どもたちの話も先生方がよく話を聞いてくれるな、と思います。危惧されているところは、ICTの普及により、人との関わりがあらゆる場面で希薄になってきていることや、全国体力テストの結果が下がっていることは気になるころではありますが、町では実際に触れる、体験するイベントなどをやってくれているので、これからも続けてほしいと思います。

また、ネット上では、フェイクニュースがたくさん流れていますが、正しい状況を見極める力、考える力、様々なものを求められてきていて難しい環境になってきていますが、自分の意思で考える力、記載されているとおり、たくましく生きる力を育ていけるように引き続き、各関係機関と協力してやってほしいと思います。

●教育長 委員の皆様からもご意見をいただきましたが、本件を原案のとおり決定してよろしいですか。

(はい。の声)

●教育長 では、そのように決定いたします。

●教育長 その他、総体的に何かございませんか。

(ありません。の声)

●教育長 以上で、本日の会議日程は全て終了しました。  
これをもちまして、第1回教育委員会を閉会します。